

連 絡 先

三重県総合文化センター 三重県文化会館 事業課 音楽事業係 (電 話) 059-233-1112 (F A X) 059-233-1106
--

アートで地域と繋がるプロジェクト
1 年 1 市町とタッグを組んで、音楽で街を元気に

新日本フィル

29 市町巡回事業 IN 四日市

1. 事業概要

三重県文化会館は地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団と協同で、1 年 1 市町全 29 年にわたる社会包摂型の長期事業「新日本フィル 29 市町巡回事業」を 2021 年度より行っています。市町行政機関や文化施設等と連携し、アートの社会的効用を活用した音楽事業を展開します。具体的には地域の魅力や課題に焦点を当て教育、福祉、観光など、市町の要望に応じて様々な場所・シチュエーションで演奏会や楽器指導などを実施します。

「プロの演奏家が奏でるホンモノの音楽を県内各地に届けたい!」。県立劇場としてのミッションを果たすべく、劇場をとびだし県内各地に音楽事業を展開します。令和 5 年度は四日市市で開催します。「音楽で街を元気に」をスローガンに市内各地で活動を行います。

「南北に長い三重県だからこそ劇場にこだわらず」

三重県は南北に長く、三重県文化会館のある津市にお越しになれない地域に住む県民も多いのが現状です。そこで、三重県文化会館を飛び出し、毎年 1 つの市町で重点的に活動します。

「市町担当者と相談し、その街のニーズに合わせて」

本事業は 2 年間で 1 サイクルとしています。1 年目は市町の担当者とプログラムや会場を決定、2 年目は実際に当該市町に楽団員が伺い、事業を実施します。また、各クールごとに楽団員コーディネーターを置き、教育・福祉・観光などそれぞれのニーズに合わせたオリジナルプログラムを三重県文化会館と協同で制作します。

2. 事業内容および行程

■1クール 四日市の夜景にきらめくブラスの響き

四日市市が誇る工場夜景を眺めることができる四日市港ポートビル 14 階、展望展示室「うみてらす 14」を会場に、金管五重奏によるコンサートを開催します。

夜景とともにきらめくブラスサウンドをお楽しみください。

金管五重奏：

担当コーディネーター：鈴木崇弘（バストロンボーン）

松田優太（トランペット）、小畑杏樹（トランペット）、大野雄太（ホルン）、伊藤大智（トロンボーン）

- ・ 6 月 17 日（土曜日）四日市港ポートビル「うみてらす 14」コンサート
場所／三重県四日市市霞二丁目 1-1 四日市港ポートビル 14 階 展望展示室「うみてらす 14」
時間／19 時 00 分開演（18 時 30 分開場）
料金／無料（展望展示室入場料 310 円）
※席に着席して鑑賞を希望される方 定員 40 名（事前申込制・抽選）



■2クール 美術作品と、お茶と楽しむ弦楽四重奏

四日市市文化会館展示棟で開催されている「うるおう、アジアー近代のアジアの芸術、その多様性ー」展の作品を間近に弦楽四重奏によるロビーコンサートを開催します。

四日市市茶室 泗翠庵では、お茶を楽しんでから演奏をお楽しみください。

弦楽四重奏：

担当コーディネーター：瀧本麻衣子（ヴァイオラ首席奏者）

ビルマン聡平（2nd ヴァイオリン首席奏者）、松崎千鶴（ヴァイオリン）、長谷川彰子（チェロ首席奏者）

- ・ 7 月 28 日（金曜日）四日市市長表敬訪問
- ・ 7 月 28 日（金曜日）四日市市文化会館 展示棟 ロビーコンサート
場所／三重県四日市市安島 2 丁目 5-3 四日市市文化会館 展示棟
時間／18 時 00 分開演（17 時 30 分開場）
料金／無料（アジア展入館料 550 円）
定員／50 名（事前申込制・抽選）



・7月29日（土曜日）四日市市茶室 泗翠庵コンサート

場所／三重県四日市市鶉の森1丁目 13-17 四日市市茶室 泗翠庵

時間／15時00分開演（14時30分開場）

料金／無料（お茶代500円）

定員／40名（事前申込制・抽選）



■3クール 芸術の秋、木管五重奏の心地よいハーモニー

近鉄四日市駅からすぐ近く、まちなか交流施設でもあるすわ公園交流館を会場に木管五重奏によるコンサートを開催します。コンサートホールとは一味違った空間でお楽しみください。

そして最終日は四日市市文化会館第2ホールで、「新日本フィル29市町巡回事業 in 四日市」の最後を飾るフィナーレコンサートを開催します。

木管五重奏：

担当コーディネーター：河本幹子（ファゴット首席奏者）

他の奏者は未定です。

・9月1日（金曜日）すわ公園交流館 まちなかコンサート

場所／三重県四日市市諏訪栄町22番25号 すわ公園交流館

時間／19時15分開演（18時45分開場）

料金／無料

定員／40名（事前申込制・抽選）



・9月2日（土曜日）フィナーレコンサート

場所／三重県四日市市安島2丁目5-3 四日市市文化会館第2ホール

時間／14時00分開演（13時30分開場）

料金／1,000円 全席自由



3. 申込期間

1クール 募集期間：5月2日（火曜日）～6月6日（火曜日）

6月17日（土曜日）四日市港ポートビル「うみてらす14」コンサート

2クール 募集期間：6月13日（火曜日）～7月19日（水曜日）

7月28日（金曜日）四日市文化会館 展示棟 ロビーコンサート

7月29日（土曜日）四日市市茶室 泗翠庵コンサート

3クール 募集期間：7月17日（月曜日）～8月22日（火曜日）
9月1日（金曜日）すわ公園交流館 まちなかコンサート
9月2日（土曜日）フィナーレコンサート チケット発売7月4日（火曜日）
※フィナーレコンサートは事前申込・抽選ではございません。
詳細は後日ホームページ、チラシ等でご案内します。

※フィナーレコンサート以外のコンサートは無料ですが、催事によって施設への入館料などが必要です。

4. 申込方法

- ・ホームページ <https://www.center-mie.or.jp/bunka/invite>
- ・電話・窓口 三重県文化会館チケットカウンター（TEL：059-233-1122）10時00分～17時00分
四日市市文化会館（TEL：059-354-4501）9時00分～19時00分



※電話申し込みの場合「お名前、お申し込み人数、代表者住所・電話番号」をお伺いします。
※申込締切後、抽選結果を代表者の方にメールまたは郵送にてご連絡いたします。

5. プロフィール

新日本フィルハーモニー交響楽団

「一緒に音楽をやろう！」1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。1997年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日常の練習と公演を行う日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会、特別演奏会、楽員プロデュース「室内楽シリーズ」のほか、地元の学校体育館や小中学校の音楽授業、各種施設の訪問など、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。

1999年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕（1975年～79年）、第2代音楽監督・井上道義（1983年～88年）、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク（2003年～13年）、第4代音楽監督・上岡敏之（2016年～21年）。その他、ダニエル・ハーディングが Music Partner of NJP（2010年～16年）、インゴ・メッツマッハーが Conductor in Residence（2013年～15年）を務めた。新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラの音楽監督に久石譲（2004年～）、また新日本フィルの Music Partner（2020年～）も歴任している。

受賞歴に第3回三菱信託音楽賞奨励賞、第18回三菱UFJ信託音楽賞、第22回ミュージック・ペンクラブ音楽賞等多数。

2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

三重県文化会館とは平成9年に地域拠点契約を結び、年に2回の定期公演の他、三重ジュニア管弦楽団の定期指導、新日本フィル楽団員による演奏クリニックを開講するなど、精力的に活動を行っている。

楽団員コーディネーター



●1 クール担当 鈴木崇弘（すずき たかひろ／バストロンボーン）

神奈川県出身。2014年サイトウ・キネン・フェスティバル松本、小澤征爾音楽塾にて「室内楽勉強会—金管アンサンブル—」及び「子どものための音楽会」に参加。同年ドイツ・オランダにて開催された第3回 Lätzsch Trombone Festival コンペティションにて1位受賞。

2016年東京芸術大学奏楽堂モーニングコンサートに出演、藝大フィルハーモニア管弦楽団と John Williams のチューバ協奏曲を協演。2016年度公益財団法人青山財団奨学生。2017年東京芸術大学卒業。

2018年チェジュ国際金管・打楽器コンクールにて2位（1位なし）受賞。同年第35回日本管打楽器コンクールにてトロンボーン部門1位及び特別大賞、内閣総理大臣賞、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団特別賞等受賞。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」（現「リサイタル・パッショ」）出演。2019年ソリストとして東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と協演。

これまでにトロンボーンを黒金寛行、石川浩、古賀慎治の各氏に、室内楽を日高剛、古賀慎治、栃本浩規の各氏に師事。



●2 クール担当 瀧本麻衣子（たきもと まいこ／ヴィオラ）

東京芸術大学音楽学部附属音楽高校にて菅沼準二氏、東京芸術大学で川本嘉子氏にヴィオラを師事。卒業後はシュトゥットガルト音楽演劇大学院にてアンドラ・ダーツィンスに師事。

第10回東京音楽コンクール弦楽器部門第3位（ヴィオラ最高位）。ドイツで開催された Carl-Wendling 室内楽コンクール第3位。2006年 Quartet Venere としてウィーン国立音大室内楽アカデミーにて、Artis-Preis 受賞（第1位）。ORF（オーストリア放送協会）受賞者演奏会に出演。

2014年 Jana Quartet として、イタリアで開催されたパオロ・ボロチアーニ国際弦楽四重奏コンクールにてセミファイナリスト。

松尾音楽財団の奨学金を受け様々なコンサートに出演。サイトウキネン若い人のための室内楽勉強会、小澤国際室内楽アカデミー、小澤征爾音楽塾、水戸室内管弦楽団、別府アルゲリッチ音楽祭などに参加。2013年よりサイトウキネンオーケストラのメンバーとして参加している。

2010～2011年ローム ミュージック ファンデーション海外派遣奨学生。

現在は、新日本フィル 首席ヴィオラ奏者、トリトン晴れた海のオーケストラメンバー。



●3 クール担当 河村幹子（かわむら みきこ／ファゴット）

13歳より岡崎耕治氏の下でファゴットを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業、同大学卒業。在学中モーニングコンサートや、3年連続室内楽定期に出演する。

新卒業生紹介演奏会で藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。DAAD（ドイツ学術交流会）の奨学生として渡独。ハノーファーとミュンヘンの音楽大学で研鑽をつむ。ミュンヘン音楽大学でマイスターコース（大学院）を修了。在学中ミュンヘンナーシンフォニカーで研究生を務める。

市立アウグスブルグ歌劇場首席奏者を経て、帰国後はNHK-FM リサイタルに出演。

2009年小澤征爾・指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団の「新日本フィル特別演奏会」でソリストを務める。上岡敏之、G. Bosse、P. v. Steinaecker・指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会、名曲シリーズやG. Bosse・指揮、神戸市室内演奏団定期演奏会ソリストを務める。Korean Chamber Orchestraの「Special Gala Concert」やChangwon Philhaemonic Orchestraの定期演奏会でソリストを務める。

現在新日本フィル 首席ファゴット奏者としての活動を中心に、木曽福島音楽祭などにも参加。東京藝術大学音楽学部非常勤講師、日本大学芸術学部非常勤講師。

ファゴットを岡崎耕治、E. Marschall、K. Thunemann、故伊達博各氏に師事。

主催：三重県文化会館 [指定管理者：公益財団法人三重県文化振興事業団]

共催：四日市市文化会館 [指定管理者：公益財団法人四日市市文化まちづくり財団]

協力：公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団、四日市港管理組合

問い合わせ先

公益財団法人 三重県文化振興事業団 三重県文化会館 電話 059-233-1112（担当：南谷）

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234（三重県総合文化センター内）